

生活単元学習指導案（略案）

平成 31 年 2 月 1 日 金曜日 2 校時 (9:40～10:30)
 高等部 2 年 男子 4 人 女子 3 人 計 7 人
 場 所 高 等 部 2 年 教 室
 指 導 者 手 塚 直 人 (CT), 飛 田 真 里 (ST)

1 単元 「やってみよう社会人の生活～家計とマナー～」

2 本時の実際 (14/15)

(1) 全体目標

イラストカードやレシート、公共料金の明細書を費目ごとに分類したり、1か月の生活に必要な費用やお金の収支について理解したりすることができる。 【社会, 数学, 家庭】

(2) 個人目標

生徒	個人目標
K. K (2年, 男)	イラストを手掛かりに生活に掛かる費用を食費や光熱費などに分類したり, 教師と一緒に模擬紙幣を操作し, 生活にはお金が掛かることに気付いたりすることができる。
K. N (2年, 男)	教師が引いたアンダーラインを手掛かりにレシートや公共料金の明細書などを読み取って, 費目ごとに分類したり, 教師と一緒に家計簿を記入し, 生活に掛かる平均的な費用について答えたりすることができる。
M. R (2年, 男)	レシートや公共料金の明細書を読み取って, 費目ごとに分類したり, 電卓を活用しながら家計簿を記入し, 生活に掛かる平均的な費用や残高を答えたりすることができる。
Y. N (2年, 男)	イラストや教師の言葉掛けを手掛かりに生活に掛かる費用を食費や光熱費などに分類したり, 教師が提示する金額のボードを手掛かりに模擬紙幣を操作し, お金の収支に気付いたりすることができる。
S. M (2年, 女)	教師の言葉掛けを受けてレシートや公共料金の明細書を読み取って, 費目ごとに分類したり, 動画を手掛かりに教師と一緒に家計簿を記入し, 生活に掛かる平均的な費用を答えたりすることができる。
N. E (2年, 女)	イラストを手掛かりに生活に掛かる費用を食費や光熱費などに分類したり, ワークシートの紙幣の枚数と費用を対応しながら模擬紙幣を操作し, 生活にはお金が掛かることに気付いたりすることができる。
W. M (2年, 女)	レシートや公共料金の明細書を読み取って, 費目ごとに分類したり, 節約できる費目を考えながら家計簿を記入し, 生活に掛かる平均的な費用や残高を答えたりすることができる。

(3) 指導及び支援に当たって

<これまでの学習の様子と本時の学習活動の概要>

生徒たちは、前時までには、ライフラインに関する調べ学習を通して、水道・電気・ガスの役割について理解を深めてきている。また、教師の生活を例に、高校生と社会人の生活の変化を比較する活動を通して、高校生と社会人の生活の違いに気づき、生活には多くの費用が掛かることについても理解してきている。そこで本時では、水道・電気・ガスの役割について学習してきた知識を生かし、生活に掛かる様々な費用を食費や光熱費などに分類したり、分類した費目ごとに家計簿を記入し、実際に模擬紙幣を操作することで、生活には具体的にどれくらいの費用が掛かっているのか理解したりすることができるようにする。また、漫画やイラストを手掛かりに具体的な場面をイメージし、自由に使えるお金の使い方を話合うことで、貯金の大切さについて考えたり、金銭を扱う公共施設である銀行の存在に気付いたりすることができるようにする。

<導入>

前時までには使用した写真やイラストを提示することで、高校生と社会人の違いや生活にはお金が掛かることを確認することができるようにする。 **基 罍**

<展開>

- ・ K. Nについては、公共料金の明細書やレシートの請求予定金額や合計金額の部分に教師がアンダーラインを引くことで、読み取る部分を把握することができるようにする。 **基 罍 罍**
- ・ M. R, S. M, W. Mについては、費目分類クイズで用いた費目シートと同じ様式の家計簿を活用したり、友達と考えを伝え合ったりすることで、正しい費目を判断することができるようにする。 **基 罍 罍**
- ・ K. K, Y. N, N. Eについては、動画内で教師が提示するボード（金種や枚数）を手掛かりにすることで、対応した模擬紙幣を操作することができるようにする。 **基 罍 罍**

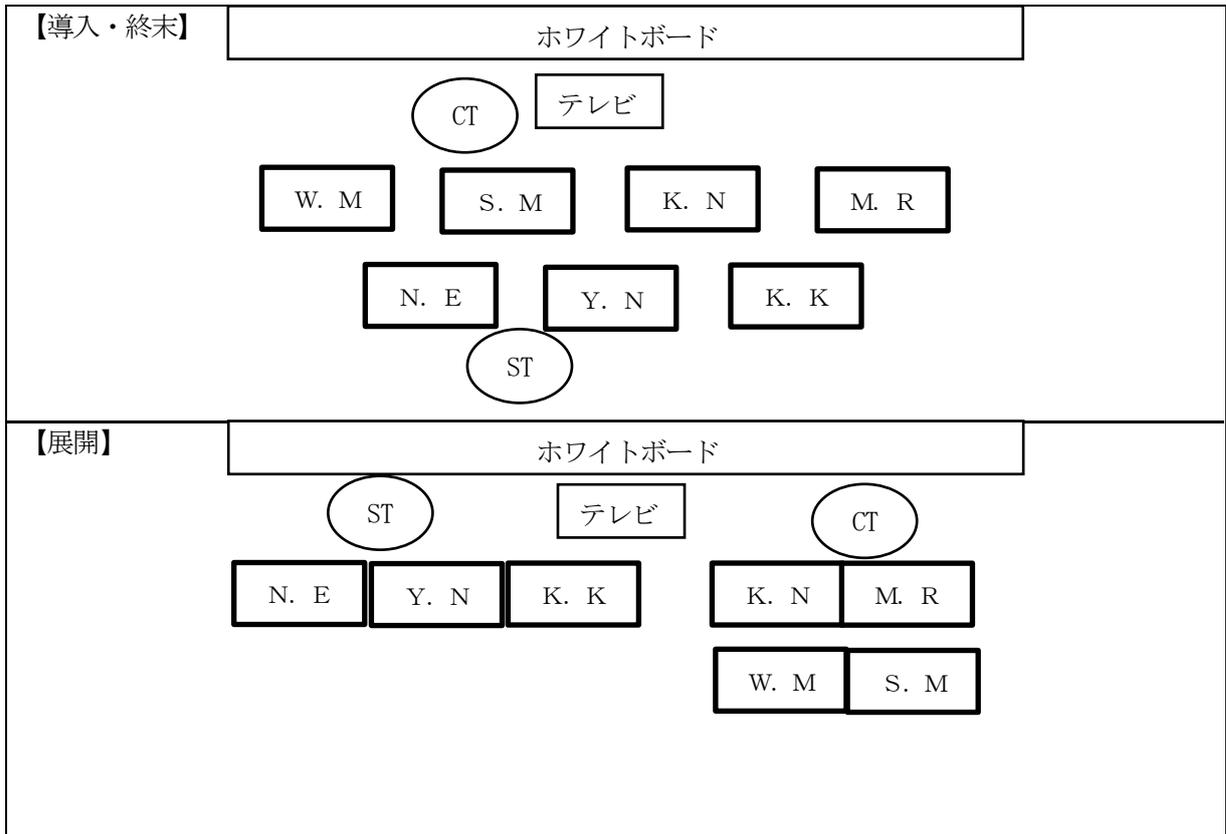
<終末>

K. K, N. Eについては、銀行の写真と関係の深いイラストを対応することで、銀行のおおまかな役割について友達に伝えることができるようにする。 **基 罍**

(4) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援に当たって	資料・準備
導入 (5分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時までの学習を確認する。 3 本時の学習内容を話し合う。 (1) めあてを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">暮らしにはどれくらいのお金が掛かるのか考えよう。</div> (2) 学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 教師がモデルを示すことで、正しい姿勢で学習を始めることができるようにする。 前時までに使用した教材を提示することで、これまでの学習内容を想起したり、本時の学習への期待感を高めたりすることができるようにする。 教師の言葉掛けを受けたり、イラストカードを確認したりすることで、費用が掛かる具体的な生活場面をイメージすることができるようにする。 全体ですること、個別ですることなど学習の流れを提示することで、学習に見通しをもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 費目シート イラストカード
展開 (40分)	4 費目分類クイズをする。(全体) (1) 費目の名称を確認する。 (2) イラストカードを費目ごとに分類する。 (3) 答えを確認する。 5 1か月の生活に掛かる平均的なお金を調べる。(グループ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【K. N, M. R, S. M, W. M】CT <input type="radio"/> 動画を見る。 <input type="radio"/> 公共料金の明細書やレシートから金額を読み取る。 <input type="radio"/> 家計簿を記入する。 <input type="radio"/> 自由に使えるお金を計算する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【K. K, Y. N, N. E】ST <input type="radio"/> 動画を見る。 <input type="radio"/> レシートの店のロゴやイラストを見て費目を分類する。 <input type="radio"/> 模擬紙幣を操作して、収入10万円から暮らしに使うお金を支払う。 <input type="radio"/> 残ったお金を教師と数える。 </div> 6 自由に使えるお金の使い方を話し合う。(全体) (1) 自由に使えるお金を増やすための節約方法を確認する。 (2) 自由に使えるお金でやりたい娯楽等を発表する。 (3) スライドで漫画を見る。 (4) 使い道について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 初めに教師がモデルを示すことで、学習内容を全体で共有したり、課題の手続きを理解したりすることができるようにする。 費目の名称の選択肢を提示することで、漢字の意味やイラストを手掛かりにイラストカードと名称を対応することができるようにする。 前時までの学習でまとめたワークシートを手掛かりに、正誤を判断できるようにする。 K. N, M. R, S. M, W. MについてはCTがK. K, Y. N, N. EはSTが指導する。 動画で具体的な生活場面を確認しながら、家計簿を記入したり、模擬紙幣を操作したりすることで、費用が掛かる場面とそれらの費目の分類、平均的な金額などを結び付けて考えることができるようにする。 模擬紙幣を用いて、収入や支出などのお金の動きを実際に操作することで、暮らしにはお金が掛かることに気付くことができるようにする。 前時の学習でまとめた水道・電気・ガスの節約方法を確認し、実際に模擬紙幣を操作して光熱費を減らすことで、節約と自由に使えるお金の関係性に気付くことができるようにする。 漫画で急な支払いが必要な場面でお金がある場合とない場合の具体的な例を確認することで、貯金の大切さに気付くことができるようにする。 お年玉の使い道を振り返ることで、今の貯金方法(貯金箱、親に預けるなど)を発表したり、イラストを手掛かりに金銭を扱う銀行の存在に気付いたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 費目シート イラストカード テレビ パソコン 模擬紙幣 家計簿 公共料金の明細書 レシート 電卓
終末 (5分)	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の予告を聞く。 9 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 発表場面を設定することで、全体で学習成果を共有したり、教師からの称賛や友達同士での認め合いを行い、成就感を感じたりすることができるようにする。 銀行の役割や手続きの方法について問題提起することで、次時の学習への期待感を高めることができるようにする。 姿勢を正し、元気よく挨拶をすることで、授業の終わりを意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ パソコン

(5) 場の設定



(6) 評価

ア 全体目標

イラストカードやレシート、公共料金の明細書を費目ごとに分類したり、1か月の生活に必要な費用やお金の収支について理解したりすることができたか。 【社会, 数学, 家庭】

イ 個人目標

生徒	個人目標
K. K (2年, 男)	イラストを手掛かりに生活に掛かる費用を食費や光熱費などに分類したり、教師と一緒に模擬紙幣を操作し、生活にはお金が掛かることに気付いたりすることができたか。
K. N (2年, 男)	教師が引いたアンダーラインを手掛かりにレシートや公共料金の明細書などを読み取って、費目ごとに分類したり、教師と一緒に家計簿を記入し、生活に掛かる平均的な費用について答えたりすることができたか。
M. R (2年, 男)	レシートや公共料金の明細書を読み取って、費目ごとに分類したり、電卓を活用しながら家計簿を記入し、生活に掛かる平均的な費用や残高を答えたりすることができたか。
Y. N (2年, 男)	イラストや教師の言葉掛けを手掛かりに生活に掛かる費用を食費や光熱費などに分類したり、教師が提示する金額のボードを手掛かりに模擬紙幣を操作し、お金の収支に気付いたりすることができたか。
S. M (2年, 女)	教師の言葉掛けを受けてレシートや公共料金の明細書を読み取って、費目ごとに分類したり、動画を手掛かりに教師と一緒に家計簿を記入し、生活に掛かる平均的な費用を答えたりすることができたか。
N. E (2年, 女)	イラストを手掛かりに生活に掛かる費用を食費や光熱費などに分類したり、ワークシートの紙幣の枚数と費用を対応しながら模擬紙幣を操作し、生活にはお金が掛かることに気付いたりすることができたか。
W. M (2年, 女)	レシートや公共料金の明細書を読み取って、費目ごとに分類したり、節約できる費目を考えながら家計簿を記入し、生活に掛かる平均的な費用や残高を答えたりすることができたか。

